

平成29年度富士見市一般会計予算（概要）

～活気あふれる未来に向けて、さらなる成長を目指した予算を編成～

1 予算概要

(1) 予算編成概要

平成29年度予算は、第5次基本構想の総仕上げとなる後期基本計画がスタートする年であることから、将来都市像の実現に向け、これまで本市が積極的に進めてきた子育て支援など各種福祉施策の充実をはじめ、都市基盤整備や防災・減災対策など、安心安全に住み続けることができるまちづくりに予算を計上したほか、産業振興や地域活性化の充実など、活気あふれる本市の未来に向けて、さらなる成長を目指した予算を編成した。

(2) 予算規模

一般会計の当初予算総額は、歳入歳出それぞれ**340億2,916万9千円**となり、前年度に比べ、3億148万円の増、率にして0.9%の増となった。

これは、本市において過去最大の予算規模であり、主な要因としては、子育て支援などの社会保障関係経費の充実のほか、公園整備や土地区画整理事業、学校施設の改修など、建設事業費の増加などによるものである。

2 歳入予算の主な特徴

(1) 市税

市税の総額は、151億4,130万7千円となり、前年度に比べ3億3,044万3千円の増、率にして2.2%の増となり、5年連続して前年度予算を上回る過去最大の税収規模となった。これは、ららぽーと富士見の開業による影響のほか、都市基盤整備などの新たなまちづくりによるものである。

個人市民税は、給与所得者における納税義務者数の増加などにより、前年度比1億1,809万6千円の増となった。

法人市民税は、ららぽーと富士見の開業など、新規法人の増加により、前年度比1,834万2千円の増となった。

固定資産税は、一般家屋の新增築の増加や、ららぽーと富士見等の償却資産の増加などにより、前年度比2億779万4千円の増となった。

(2) 地方消費税交付金

地方消費税交付金は、前年度決算見込みを踏まえ、13億5,000万円と見込み、前年度比2億5,000万円の減、率にして15.6%の減となった。このうち社会保障財源化分は6億4,000万円である。

〔資料〕別紙「平成29年度予算に係る地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障施策に要する経費について」

(3) 地方交付税

地方交付税の総額は、31億円と見込み、前年度比2億円の減、率にして6.1%の減となった。

普通交付税は、地方財政計画や基準財政需要額の動向等を踏まえて29億円と見込み、前年度比2億円の減、特別交付税は、これまでの交付状況を考慮し、前年度同額の2億円と見込んだ。

〔参考〕平成28年度普通交付税額：29億6,800万1千円

(4) 繰入金

繰入金は、13億4,420万1千円となり、前年度比6億4,739万5千円の増、率にして92.9%の増となっている。

財政調整基金繰入金は、8億2,696万6千円となり、前年度比4億3,966万円の増となった。

公共施設整備基金繰入金は、中央図書館大規模改修工事に対し3億円の繰り入れとしている。

緑地保全基金繰入金は、緑の散歩道「貝戸の森」や「谷津の森」の用地取得費に対し1億8,378万5千円の繰り入れとしている。

〔参考〕財政調整基金残高見込み 平成28年度末：26億4,767万3千円

平成29年度末：20億7,211万5千円

(5) 市債

市債は、31億9,300万円となり、前年度比3億1,260万円の減、率にして8.9%の減となっている。

小・中学校に係る学校施設整備事業債は、8億8,590万円となり、前年度比で5億2,460万円増加し、臨時財政対策債は、地方財政計画を踏まえて13億円と見込み、前年度比5,000万円の減とした。

〔参考〕一般会計市債残高見込み 平成28年度末：212億1,010万4千円

平成29年度末：223億8,534万6千円

*平成29年度末見込みには、平成28年度繰越明許費に係る市債を含む。

3 歳出予算の主な特徴

〔資料〕別紙「平成29年度当初予算の主要事業」

(1) 第5次基本構想後期基本計画の推進

① スクスク子育て支援の充実

ア 子ども未来応援センターの開設

- ・妊娠期から子育て期に至るまでの包括的な支援体制を構築する。(平成29年10月健康増進センター内にオープン)

(ア) 開設準備費用 672万9千円

(イ) 子ども未来相談窓口の設置

子ども未来相談員の配置 304万2千円

子ども未来コーディネーターの配置 304万2千円

(ウ) 妊婦等に対する相談・支援

保健師等の配置 259万8千円

予防接種スケジューラーの配信等 304万1千円

不妊治療等助成制度の創設 2,220万円

イ ひとり親世帯への支援の充実

- ・婚姻歴のないひとり親に対し、寡婦(夫)控除をみなし適用する。

(イ) 保育所保育料 33万9千円(歳入の減額)

(ロ) 放課後児童クラブ保護者負担金 23万1千円(歳入の減額)

- ・所得税及び市民税非課税世帯に対する放課後児童クラブ保護者負担金を免除する。132万円(歳入の減額)

- ・ひとり親交流の場所「おしゃべり☆ふれいす」を開催する。10万9千円

ウ 民間保育施設の整備補助 3億288万9千円

- ・平成30年4月開設予定の民間保育所(鶴瀬駅西口地区)及び小規模保育施設(ふじみ野駅東口地区)に対して施設整備費を補助する。

エ 放課後児童クラブの施設整備 7,225万3千円

- ・つるせ台第2・第3放課後児童クラブの施設整備をする。

オ 学校扶助(就学援助)の充実 654万2千円

- ・中学校新入学用品費の支給時期を中学1年時から小学6年時の3月に前倒しする。

② 学校教育の充実

ア 情報教育の推進 476万9千円

- ・教育用パソコンをデスクトップ型からタブレット型に更新(関沢小・針ヶ谷小)するとともに、電子黒板等を各校に配備する。

イ 放課後等における学習支援の充実

- ・民間委託により小学5年生を対象とした学習会を公民館など3施設において毎週土曜日に開催する。 515万2千円
- ・民間委託により中学3年生を対象とした学習会を公民館2施設において平日放課後に開催する。 676万7千円

ウ 生活困窮家庭の子どもへの学習支援の充実 1,308万円

- ・生活困窮家庭の中学生を対象とした学習支援教室を2か所に増設する。

エ 若手教員育成指導員の配置 653万1千円

- ・小学校の若手教職員の授業力を向上するための指導員を配置する。

オ 不登校児童生徒への支援体制の充実 108万円

- ・スクールソーシャルワーカーを1名増員し、2名体制とする。

③健康長寿施策の推進

ア 成人歯科健診の対象者の拡大 40万円

- ・成人歯科検診の対象年齢を30歳以上から20歳以上に拡大する。

イ 健康マイレージ事業の実施 394万2千円

- ・ウォーキングや健康イベント等に参加してポイントを貯める健康マイレージ事業を実施する。

ウ 食育の推進 114万8千円

- ・ピアザ☆ふじみ内の食育推進室を活用して、女子栄養大学や市内飲食店などと連携・協力のもと、各種食育推進事業を行う。

④高齢者福祉の充実

ア 介護保険特別会計への繰出金 8億8,258万2千円

- ・要介護認定者数の増加や高齢者あんしん相談センターの体制強化、地域密着型サービス事業所の開設、定期巡回サービスの開始等に伴う保険給付費の増加により、繰出金は前年度比1,345万8千円の増となった。

イ 介護職員人材確保の推進 220万4千円

- ・介護職員初任者研修を実施し、介護事業所等における介護人材の確保を図る。

ウ 高齢者保健福祉計画の策定 328万4千円

- ・介護保険事業推進委員会の意見等を踏まえ、第7期高齢者保健福祉計画を策定する。

⑤障がい者福祉の充実

ア 在宅超重症心身障がい児レスパイトケア事業補助金の創設 28万円

- ・医療的ケアが必要な障がい児を介助する家族の負担軽減を図るため、レスパイトケアを行う事業所に対し補助を行う。

- イ 障がい者相談支援センターの移転・新設 1,906万1千円
 - ・三芳町との共同により市外で運営している障がい者相談支援センターを市内に移転し、本市単独で運営する。
- ウ あいサポート運動の推進 143万円
 - ・社会福祉協議会へ委託し、あいサポーター養成講座のほか、新たに「初めての手話講座」を開催する。
- エ 遠隔手話の導入 26万5千円
 - ・市窓口に来庁した聴覚障がい者に対応するため、市と社会福祉協議会にタブレット端末を配置する。

⑥生涯学習施設の充実

- ア 中央図書館のリニューアル 3億4,941万1千円
 - ・開館から20年以上が経過した中央図書館の閲覧スペースのレイアウト変更などを行う。

⑦スポーツ・レクリエーションの推進

- ア スポーツ活動に親しむ機会の充実
 - ・ロンドンオリンピック金メダリストの小原日登美氏を講師として、小学生向けのレスリング教室を開講する。 41万2千円
 - ・レスリングマットを購入する。 723万6千円
- イ リニューアル記念イベントの実施（平成29年5月） 82万4千円
 - ・市民総合体育館のリニューアルオープンにあたり、ハンドボール体験講習会や講演等の記念イベントを実施する。

⑧文化芸術の創造

- ア 地域コンサートの開催 10万円
 - ・ふじみ野駅構内等で音楽大学等によるコンサートを開催する。
- イ 市制45周年を記念した舞台芸術鑑賞会の開催 150万円
 - ・市民文化会館キラリ☆ふじみにて歌舞伎鑑賞会を開催し、市内中学生を無料招待する。

⑨地域活性化事業の推進

- ア 旧富士見青年の家跡地等の活用 700万円
 - ・びん沼自然公園など周辺を含めた旧富士見青年の家跡地の活用方針等を検討する。
- イ シティセールスの推進 12万円
 - ・アドバイザーを招へいし、戦略的なシティセールスについて調査・研究する。
- ウ 富士見市PR大使のイベント開催 136万6千円
 - ・市民文化会館キラリ☆ふじみにてPR大使によるトークショーを開催する。

⑩産業等の振興

- ア 新たな富士見ブランドへの助成 40 万円
 - ・「縄文海進」の原酒と市内で生産された梅を使用して新たな商品「梅酒(うめさけ)」を製造、販売する酒販組合に対し助成を行う。
- イ 商店街活性化の推進 519 万 3 千円
 - ・商店街等が実施する地域の活性化に寄与する事業等への補助を拡充する。
- ウ 専門家の派遣による支援 45 万円
 - ・商店会や新規創業者等の課題解決を図るため、産業活性化アドバイザーを派遣する。
- エ アクティブシニアの活躍 6 万 2 千円
 - ・アクティブシニア向けのシンポジウムを開催する。
- オ 産業振興基金の創設 1,000 万円
 - ・農・商・工業、観光等の振興を図るため、産業振興基金を創設する。

⑪公園整備及び緑地保全の推進

- ア (仮称)鶴瀬駅西口第1公園の整備 1億2,430万円
 - ・市民協働により公園の設計を進めてきた鶴瀬駅西口土地区画整理地内の第1公園の整備を行う。
- イ 緑地の保全
 - ・緑の散歩道「貝戸の森」の用地を取得する。 1億88万5千円
 - ・緑の散歩道「谷津の森」の用地を取得する。 8,290万円

⑫省エネ・再生可能エネルギーの普及

- ア 奨励金支給対象の拡充 700 万円
 - ・太陽光発電システム設置補助に係る容量の上限基準を廃止するほか、新たにHEMS（自宅のエネルギー使用量をモニターで確認できるシステム）や太陽熱利用システムの設置に対し奨励金を交付する。
- イ 公共施設等のLED化推進
 - ・防犯灯1,622基をLEDに更新する。 4,465万8千円
 - ・道路照明灯73基をLEDに更新する。 6,500万円
 - ・市役所本庁の会議室等の照明をLEDに更新する。 116万6千円

⑬都市基盤整備の推進

- ア 土地利用計画の策定
 - ・シティゾーン土地利用計画を策定する。 509万8千円
 - ・水谷柳瀬川土地利用計画を策定する。 543万3千円
- イ 小規模土地区画整理事業の推進 1,100 万円
 - ・羽沢2丁目地内における土地区画整理組合の設立に係る補助金を交付する。

ウ 鶴瀬駅東西口土地区画整理事業の推進

- ・土地区画整理事業の推進及び早期完了を目指し、特別会計へ繰出金を支出する。
(ア) 鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計への繰出金 3億8,854万6千円
(イ) 鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計への繰出金 3億4,680万6千円

エ 都市計画道路の整備推進

- ・富士見橋通線の詳細設計等を実施する。 3,053万3千円
- ・みずほ台駅東通線の整備方針の検討等を行う。 358万6千円

⑭道路整備の推進

ア 幹線道路の整備 5億8,146万8千円

- ・市道第5101号線(大字勝瀬地内)や市道第5210号線(鶴瀬駅西口)などの幹線道路の整備を行う。

イ 生活道路の整備 8,050万円

- ・市道第1233号線(大字水子地内)など、市民生活に密着した各地域の生活道路の整備を行う。

ウ 道路修繕の実施 1億円

- ・市内各所の傷んだ道路の修繕を行う。

⑮市民参加・協働の推進

ア 市民活動総合保険の拡充 321万9千円

- ・町会や地域団体等の無報酬による地域社会活動時の怪我等に備え、市が加入している賠償責任保険・傷害保険の対象者を拡大する。

イ 地域まちづくり協議会への支援 260万円

- ・地域まちづくり協議会の組織化を推進するとともに、地域まちづくり協議会が行う事業に対する助成を行う。

ウ 協働事業提案制度による事業の実施 62万6千円

- ・市民提案型協働事業として採択された1事業に対し助成を行う。
(ア) マタニティコンサート&産後ケア講座
- ・行政提案型協働事業として採択された3事業に対し助成を行う。
(ア) 手話を知るための講演会
(イ) スポーツ交流を通して、障がいについて知ろう
(ウ) あいサポート3周年イベント～知ろう！学ぼう！当事者から～

⑯町会活動の支援の充実

ア 町会の拠点施設の環境改善 519万3千円

- ・水谷東3丁目集会所の解体及び建設工事の設計を行う。

イ 掲示板の更新

- ・市内掲示板の改修を4か年で計画的に実施する。 149万3千円
- ・(仮称)鶴瀬駅第2公園に掲示板を新設する。 20万円

(2) 市民生活の安心安全を高める施策の推進

市民が安心して安全な生活を送れるよう総合的な防災・減災対策等を推進する。

①防犯対策の充実

ア 防犯カメラ等の設置の推進

- ・アドバイザーを招へいし、市内公共施設等に防犯カメラを設置するための調査・研究を行う。 9万6千円
- ・公立保育所及びみずほ学園に防犯カメラを設置する。 158万8千円
- ・前沼公園及び上沢公園に防犯カメラを設置する。 130万円
- ・打越公園内に非常ボタンシステムを設置する。 70万円

イ 空家対策の推進

- ・市内における空家等の実態調査を行う。 736万6千円
- ・空家情報のデータベース化を行う。 223万6千円

ウ 防犯灯のLED化促進 4,465万8千円（再掲）

- ・市内の防犯灯を平成28年度から平成30年度までの3か年でLED化する。平成29年度は、1,622基を対象に実施する。

②防災対策の充実

ア 地域防災計画等の改定 1,130万8千円

- ・災害対策基本法の改正に基づき、地域防災計画を改定するほか、地域防災ガイドライン及び避難所運営マニュアルを改定する。

イ ハザードマップの改定 275万4千円

- ・地震及び洪水ハザードマップのデータを作成する。

ウ 避難所カルテの作成 246万2千円

- ・避難所ごとの施設概要や災害井戸の位置などを取りまとめた避難所カルテを作成する。

エ 災害情報等の伝達手段の充実 11万3千円

- ・防災行政無線の内容を電話で確認できる自動応答サービスを開始する。

③交通安全の推進

ア 通学路における安全確保の推進

- ・小学校指定通学路にグリーンベルト等を設置する。 1,400万円
- ・ゾーン30事業による区画線を整備する。（羽沢2丁目地内） 600万円

イ 交通安全教室の開催 175万円

- ・市内6中学校を対象に、スケアードストレート教育技法を活用した交通安全教室を開催する。

ウ 道路照明灯のLED化の推進（再掲） 6,500万円

- ・老朽化した道路照明灯をLED化する。

④浸水対策の推進

ア 現況調査の実施 1,000 万円

- ・砂川堀排水区域を中心とした雨水排水系統の現状確認と解析を行うとともに、砂川堀や新河岸川への良好な内水排除を行うための調査を行う。

イ 雨水流出を抑制する浸透枿の設置

- ・第3保育所の園庭及び駐車場に浸透枿を設置する。 199 万 1 千円
- ・唐沢公園、関沢公園、松の木公園に浸透枿を設置する。 1,269 万円

⑤橋梁の長寿命化の推進

ア 橋梁の耐震化

- ・木染橋の耐震補強工事（第2工区）を実施する。 1 億 1,500 万円
- ・寿橋の耐震補強工事の設計を実施する。 900 万円

⑥歩道の整備推進

ア 市道第1199号線（大字水子地内・第2工区）の歩道整備 6,000 万円

⑦市内公共交通の充実

ア デマンド交通実証運行の実施 1,806 万 4 千円

- ・デマンド交通の有効性・手法などの実証データを取得するため、実証運行を行う。

4 主な行財政改革の取組み

(1) 自主財源の確保

① 収納率向上行動計画に基づく取組みの推進

- ア 時代に即した納税環境等の整備拡充
 - ・ペイジー口座振替届出システムを導入し、預金等の口座登録の迅速化を図る。

② 広告収入の確保

- ア 庁舎案内板等広告掲載料 78 万円
- イ 総合的窓口モニター広告掲載料 60 万円
- ウ 市ホームページバナー広告掲載料 312 万円

③ 自動販売機設置に係る市有財産の貸付

- ア 飲料水自動販売機設置貸付料等 877 万 9 千円

④ 基金の一括運用

- ア 特定目的基金の運用を一括して行い、効果的な運用益の確保を図る。

(2) 施設利用区分の見直し

- ア 市民総合体育館の利用区分・利用時間の細分化
 - ・利用区分を3区分から2時間制に変更することで、利用者の利便性の向上を図る。

(3) 照明機器のLED化による電気料金の削減

- ア 防犯灯のLED化による電気料金の減
 - ・1, 622基をLEDに更新する。(約260万円の削減)
- イ 道路照明灯のLED化による電気料金の減
 - ・73基をLEDに更新する。(約70万円の削減)
- ウ 公共施設照明のLED化による電気料金の減
 - ・市役所本庁の会議室等をLEDに更新する。(約10万円の削減)

(4) PPS(特定規模電気事業者)の導入による効果(東京電力比 約△2,630万円)

- ・38の公共施設にPPSを継続導入し電気料金の削減を図る。

(5) 民間活力の活用

① データ転送による事務の効率化

- ・クラウド口座振替取りまとめサービスの導入により、各銀行との事務処理の軽減を図る。

② 粗大ごみ収集業務の効率化

- ・粗大ごみの収集運搬業務を民間委託化する。
- ・粗大ごみ処理手数料の支払い方法を、コンビニエンスストアなどで粗大ごみ処理券(シール)を購入する方式に変更し、利便性の向上を図る。

5 平成29年度一般会計予算款別一覧

【歳入】

(単位 千円)

款 名 称	本年度予算額	前年度予算額	増減額・率(%)	
市 税	15,141,307	14,810,864	330,443	2.2
地 方 譲 与 税	189,000	189,000	0	0.0
利 子 割 交 付 金	9,000	19,000	△10,000	△52.6
配 当 割 交 付 金	67,000	136,000	△69,000	△50.7
株式等譲渡所得割交付金	53,000	92,000	△39,000	△42.4
地方消費税交付金	1,350,000	1,600,000	△250,000	△15.6
ゴルフ場利用税交付金	2,000	2,000	0	0.0
自動車取得税交付金	70,000	54,000	16,000	29.6
地方特例交付金	97,000	89,000	8,000	9.0
地 方 交 付 税	3,100,000	3,300,000	△200,000	△6.1
交通安全対策特別交付金	10,000	10,000	0	0.0
分担金及び負担金	561,877	635,847	△73,970	△11.6
使用料及び手数料	309,911	303,190	6,721	2.2
国 庫 支 出 金	5,912,147	5,599,831	312,316	5.6
県 支 出 金	1,973,258	1,888,086	85,172	4.5
財 産 収 入	20,289	22,193	△1,904	△8.6
寄 附 金	25,520	25,520	0	0.0
繰 入 金	1,344,201	696,806	647,395	92.9
繰 越 金	250,000	250,000	0	0.0
諸 収 入	350,659	498,752	△148,093	△29.7
市 債	3,193,000	3,505,600	△312,600	△8.9
合 計	34,029,169	33,727,689	301,480	0.9

【歳出】

(単位 千円)

款 名 称	本年度予算額	前年度予算額	増減額・率(%)	
議 会 費	249,328	244,670	4,658	1.9
総 務 費	3,703,867	3,873,372	△169,505	△4.4
民 生 費	16,394,981	15,511,035	883,946	5.7
衛 生 費	2,042,311	1,930,658	111,653	5.8
労 働 費	6,922	7,726	△804	△10.4
農 林 水 産 業 費	109,339	126,811	△17,472	△13.8
商 工 費	73,147	62,785	10,362	16.5
土 木 費	4,101,172	3,681,495	419,677	11.4
消 防 費	1,228,048	1,203,923	24,125	2.0
教 育 費	3,726,464	3,671,959	54,505	1.5
災 害 復 旧 費	1	1,010,001	△1,010,000	△100.0
公 債 費	2,343,589	2,353,254	△9,665	△0.4
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0
合 計	34,029,169	33,727,689	301,480	0.9